

第60期 報告書

QUEST REPORT

2023.4.1 - 2024.3.31

株式会社クエスト

証券コード：2332

株主の皆様へ

当社は創立60年目を迎えます。

これもひとえに株主の皆様の日ごろのご支援ご鞭撻の賜物であり、厚く御礼申し上げます。

今後もクエストは透明性の高いグループ経営を継続し、ITによる社会課題の解決、さらに一層の企業価値向上、継続的成長のために邁進してまいります。株主の皆様におかれましては引き続き一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役 会長 兼 社長執行役員 清澤 一郎



第60期の総括(業績・経営方針)

第60期(2023年4月1日～2024年3月31日)の業績は、売上高は前年同期並みの142億24百万円、営業利益9億97百万円、経常利益10億61百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は6億96百万円となり、売上高は11期連続、営業利益は6期連続過去最高を更新致しました。事業概況として、主要顧客である半導体分野顧客からの投資抑制の影響が想定より長期化したものの、需要の高いエレクトロニクス分野、金融分野等の他産業分野顧客へリソースを柔軟にシフトすることによ

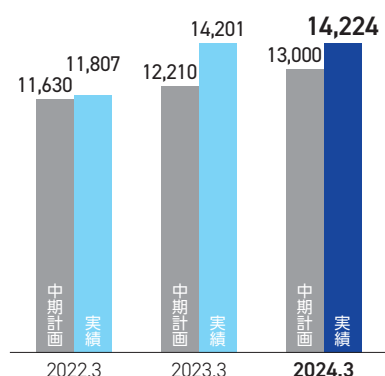
り、収益の安定確保を図りました。

また当社が中長期ビジョンとして掲げる「Quest Vision2030」の第1期・中期経営計画(2021-23年度)においては、3つの基本方針に基づく施策を着実に実行し、売上高や営業利益等の項目について当初の中期経営計画目標値を上回る結果となりました。今後も社会情勢や顧客動向を注視しながら、人や技術への必要な投資を実行し、新たな強みを生み出し、持続的な成長と企業価値向上を実現してまいります。

FINANCIAL HIGHLIGHTS 業績ハイライト

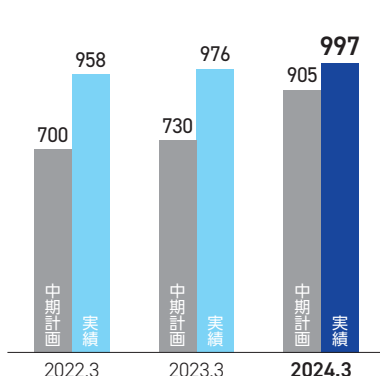
売上高

(単位：百万円)



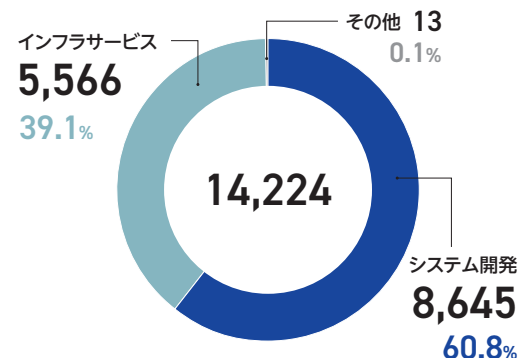
営業利益

(単位：百万円)



セグメント別売上高

(単位：百万円)



※ 2021年度は単体ベース、2022年度以降は連結ベースとなります。

※ 「その他」の区分は、報告セグメントに含まない受託計算サービス事業及び商品販売事業を含んでいます。

サステナビリティ経営に向けた取り組み



第1期・中期経営計画の総括

Quest Vision2030の第1期である2021-23年度においては、以下の3つの基本方針に基づき、各種取り組みを着実に実行してまいりました。2023年度の売上高については2022年3月に株式会社エヌ・ケイを新たにグループに迎えた効果もあり、当初の計画である130億円を上回る142億円となりました。

	主な成果と課題
事業構造の変革	- 成果 既存事業の深耕と新規事業の開拓の両利き経営の実践 - 成果 エンジニアリングDX事業 (PLMソリューション) の獲得 - 課題 より収益性と付加価値の高い事業領域の拡大
産業ポートフォリオの変革	- 成果 エヌ・ケイとのシナジーによる強化領域 (半導体分野) への深耕強化 - 成果 事業環境に即した顧客産業セグメントをまたぐ横断的なリソース配分 - 課題 ヘルスケア・メディカル領域の参入強化
事業体質の変革	- 成果 データドリブン経営を目指した施策の実行と環境の整備 - 成果 キャリアの複線化や組織サーベイの実施を含む人的資本投資の拡充 - 課題 成長期待や働きがい・社会的意義をより実感できる会社への発展

第2期・中期経営計画の概要

Quest Vision2030実現や資本コストや株価を意識した経営の実現に向けては、収益性の更なる改善と株式市場の信頼を得られる成長を示すこと、安定した配当と創出利益の再配分とのバランスが課題となっています。第2期となる2024-26年度は、資本効率を踏まえた収益性の向上と事業の変革、体質強化、人財や新しい技術への積極的な投資を実施し、2030年度の飛躍に向けて、「着実な成長」と「持続的成長に向けた仕込み」を目指します。



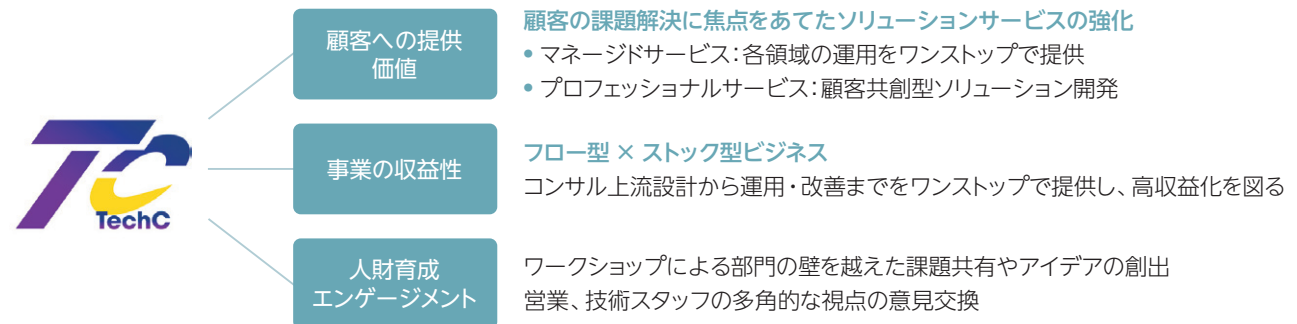
売上高	EBITDAマージン	ROE
2023年度 142億円	2023年度 8.6%	2023年度 10.7%
2026年度 168億円	2026年度 9.3%	2026年度 11.0%超

TOPICS

TOPICS 1

Quest Vision2030に向け、高い付加価値をもたらす「ソリューションサービス」の拡大を目指す

Quest Vision2030に向け、「付加価値ソリューションのビジネス化とサービス化」に必要な技術開発構築を目的とした技術創出プロジェクト「Tech C (Technology Creation Project)」を発足致しました。第2期・中期経営計画 (2024-26年度) では、ビジネスボリュームと企業価値の向上を図る技術軸による戦略を推進しています。当社の既存の強みと付加価値を強化し、顧客満足度と収益性を高めると同時に、社員一人ひとりのキャリア構築や活躍の場を更に拡大していくことを目指しています。



TOPICS 2

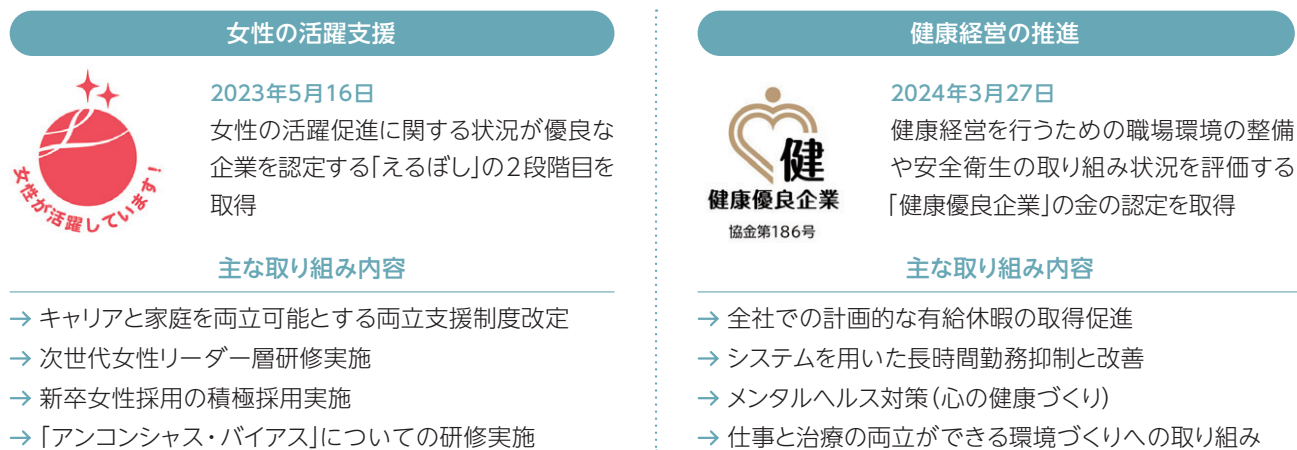
持続的な成長を実現するため、当社の重要課題であるマテリアリティを策定

社会(ステークホルダー)と自社にとって重要度の高い課題に関して、以下 3 つのマテリアリティ(重要課題)を策定致しました。経営理念体系に基づいた事業活動を通じて、お客様とともに価値を共創し、企業価値の向上と持続可能な社会の発展に貢献し続けます。



TOPICS 3

女性活躍・健康経営の推進企業として、えるぼし認定(2段階目)、健康経営・金の認定を取得



新オフィスにてファミリーデーを開催

3月23日(土)本社オフィスタワーにて、当社グループとして初の試みとなるファミリーデーを開催致しました。2023年4月に移転した本社オフィス(港区田町)に多くの従業員とその家族115名(社員 67名/ご家族 48名)が来場しました。子ども向けパソコン教室などを通して、ITの仕事に体験していただくほか、当日限定のアクティビティやオフィスツアーを楽しみながら、家族が普段働く環境を見学いただきました。

また、普段はお客様先に常駐している社員など勤務地が異なる社員同士の交流の場となり、終日にぎやかな声が聞こえておりました。



当日限定のアクティビティの様子

会社概要／株式情報／株主メモ (2024年3月31日現在)

会社概要

社名	株式会社クエスト
設立	1965年5月
資本金	491,031,000円
事業内容	システム開発・保守、インフラサービス、IT Value Up サービス、ビジネス・プロセス・アウトソーシング
従業員数	966名(連結) *パート・アルバイト・嘱託社員を除く
グループ会社	株式会社エヌ・ケイ

株式状況

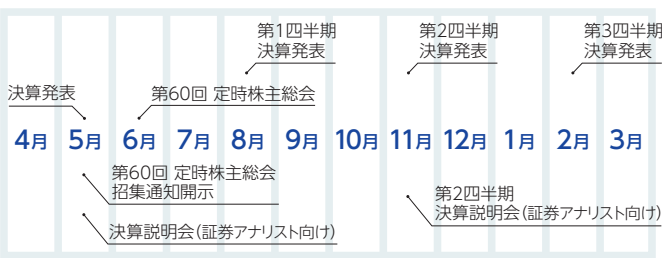
発行可能株式総数	9,560,000株
発行済株式総数	5,487,768株
株主数	3,805名
1単元の株式数	100株

大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
内田 廣	837	15.64
クエスト従業員持株会	313	5.85
花輪 祐二	293	5.48
SCSK株式会社	268	5.01
株式会社ユニリタ	265	4.94
株式会社スカラ	254	4.74
内田 マサ子	150	2.80
内田 久恵	150	2.80
肥後野 恵史	119	2.24
光通信株式会社	105	1.97

(注)持株比率は、発行済株式の総数から自己株式を控除して計算しております。

IRカレンダー

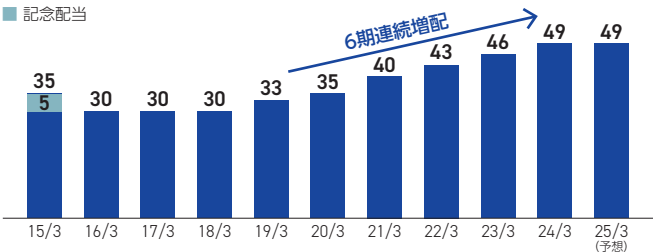


配当金

2025年3月期 1株当たり年間配当金 49円(予想)

業績や財務状況を勘案しながら、安定的かつ継続的に配当水準を維持・向上してまいります。

■ 記念配当



所有者別株式分布状況

金融機関・証券会社	25名	257,990株	4.70%
国内法人等	25名	905,343株	16.49%
個人・その他	3,733名	4,116,931株	75.02%
自己名義株式	1名	133,579株	2.43%
外国人・外国法人	21名	73,925株	1.34%

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで	株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
定時株主総会	毎年6月下旬	郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
基準日	毎年3月31日	(電話照会先)	電話 0120-782-031(フリーダイヤル) 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。
配当金受領株主確定日	毎年3月31日(取締役会の決議により、中間配当を行う場合は9月30日)		

株式会社クエスト

東京都港区芝浦三丁目1番1号 msb Tamachi 田町ステーションタワーN14階

お問い合わせ先：経営企画管理部

050-3785-3965(直通) Email:ir@quest.co.jp

